

公益社団法人日本ライフル射撃協会
2022年度第2回理事会議事録

日時：2022年7月9日（土） 13:30～15:30

場所：東京都 新宿区霞ヶ丘町4-2 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 3階会議室9
及びオンライン会議（Zoom）

出席者（* テレビ会議による出席）

理事：総数27名中

松丸喜一郎会長 *田村恒彦副会長 袴田登喜造副会長兼専務理事 *横山幸子副会長
*永谷喜一郎常務理事 *大野明敏常務理事 *三木容子常務理事 平井宏治常務理事
*佐橋朋木常務理事 *近藤正晃ジェームス常務理事 小風明常務理事 *源洋子理事
*成山悟史理事 *田口亜希理事 松島愛理事 *穂苅美奈子理事 *寺澤良悦理事
*田中僚一郎理事 *横沢聡理事 *尾崎和郎理事 *高橋信吾理事 *山下晃弘理事
*仲本渚理事 五十嵐治人理事 *田中辰美理事

以上出席25名

監事：総数2名中 *香西俊輔監事 岸高清監事 以上出席2名

議事録署名人：松丸会長、田村副会長、袴田副会長兼専務理事、横山副会長、香西監事、
岸高監事

袴田専務理事が13時30分に理事25名出席で成立するとの宣言をした。

議長：代表理事 松丸喜一郎

事務局が、オンライン会議システムにより、出席者の音声即時に双方向に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して議案の審議に入った。

1 会長あいさつ

昨日、安倍晋三元内閣総理大臣が凶弾に倒れた。安倍元首相は2020東京オリンピックパラリンピック大会の招致において、非常に主導的な役割を担った。ここに哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りして、黙祷をささげたいと存じます。（黙祷）
手製とはいえ、凶弾に倒れたという報道がされており、私達銃を扱う者として、安全管理を徹底して間違いのないよう、気を引き締めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは理事会の議事に入りたいと思います。

<審議事項>

2 会長事項

審議事項なし

3 総務委員会

3.1 「理事監事本部委員の出張、出役旅費雑費規程」の改定について

横山委員長より資料「3.1 理事監事本部委員の出張、出役旅費雑費規程の改定について」にもとづいて説明があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

3.2 新エンブレム、ロゴデザイン（新英語名略称を使用）案

横山委員長より資料「3.2 新エンブレム、ロゴデザイン（新英語名略称を使用）案」にもとづいて説明があった。総務委員会においては、第1案を理事会へ提案した。



議長がはかり、全員意義なく資料の第1案を承認した。

3.3 ふるさと納税寄付補助金の加盟団体還付率について
袴田専務より資料「3.3(追加) ふるさと納税寄付補助金の加盟団体還付率について」にもとづいて説明があった。

松丸会長より、外部理事による寄附についてはどうするか、詳細は総務委員会に一任したいとの提案があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案、提案の通り承認した。

3.4 スポーツ国際展開基盤形成事業について
松丸会長より資料「3.4 スポーツ国際展開基盤形成事業について」にもとづいて説明があり、松丸会長が今年のISSF選挙において理事(Council Member)に立候補したい、との提案があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案、提案の通り松丸会長が今年のISSF選挙において理事(Council Member)に立候補することを承認した。

4 推薦委員会

審議事項なし

5 国体委員会

5.1 島根国スポにおける50m射座数の削減について
平井委員長より、資料「5.1(追加) 島根国スポにおける50m射座数の削減について」にもとづいて説明があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

6 選手強化委員会

6.1 2022年度強化指定選手選考基準及び海外派遣要項
佐橋委員長より、資料「6.1(差替) 2022年度強化指定選手選考基準及び海外派遣要項」にもとづいて説明があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7 競技運営委員会

7.1 G1競技会における開催地の公募制への移行について
三木委員長より、資料「7.1(追加) G1競技会における開催地の公募制への移行について」にもとづいて説明があった。

永谷常務理事より、応募がなかった場合はどうなるのか、との質問があった。
三木委員長より、応募がなかった場合は協会から開催条件にあう射撃場に協会から声をかける、との回答があった。

松丸会長より、同じ射撃場が2年続けて開催するということは基本的にないのか、との質問があった。

三木委員長より、3年のうちに同じ射撃場が開催することは基本的にないが、応募状況によって3年内にお願いするところが出るかもしれない、との回答があった。

松島理事より、2月の理事会で承認とあるが、4月開催の試合だと間に合わないのではないか、との質問があった。

三木委員長より、例年12月に計画がだされ、最終承認が2月の理事会であるため、(年度明けの試合については)早めに決めていく、との回答があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7.2 全日本選手権大会(CP) 広島つつが射撃場修繕費用について
三木委員長より、資料「7.2 全日本選手権大会(CP) 広島つつが射撃場修繕費用

について」にもとづいて25m回転式装置の修繕について説明があった。今年度は、資料記載の2,786,000円だが、来年度はもう2セットを修繕するため、80万円が追加で必要になる。

松丸会長より、今年度予算に入っていないため、予算の修正として承認する事になり、来年度分を含めると消費税込3,586,000円になる、との説明があった。

岸高監事より、どこの所有なのかとの質問があった。

平井常務理事より、広島県と市の共同所有である、との回答があった。

議長がはかり、全員意義なく消費税込3,586,000円の支出を承認した。

7.3 ライフル射撃競技規則集の修正について
三木委員長より、資料「7.3(追加) ライフル射撃競技規則集の修正について」にもとづいて説明があった。

松丸会長より、東京2020大会の役員養成を目的とした優遇措置について、見直しをはかり、継続するものは継続し、終了するものは終了していただきたい、との意見があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7.4 TD名簿(2021年度受講者新規分)
三木委員長より、資料「7.4(追加) 2022年度TD名簿(新規分)」にもとづいて説明があった。

表中の西森氏は、ご本人の意思でTD名簿掲載を辞退されたため、同氏はTD名簿には記載しない提案としたい、またTD講習会は、今後年1回開催したい、との補足説明があった。

議長がはかり、全員意義なく資料及び口頭補足をあわせた説明案の通り承認した。

7.5 公認審判員
三木委員長より、資料「7.5(追加) 公認審判員について」にもとづいて説明があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7.6 日本記録公認
栗生部会長より、資料「7.6(追加) 日本記録について」にもとづいて説明があった。

田村副会長より、資料において「50mライフル三姿勢男子ミックスチーム」となっているが、「50mライフル三姿勢ミックスチーム」ではないか、との指摘があった。

栗生部会長より、指摘の通りであり、訂正する、との回答があった。

議長がはかり、全員意義なく指摘事項を修正した説明案を承認した。

8 普及・生涯スポーツ委員会

審議事項なし

9 マーケティング委員会

審議事項なし

10 コンプライアンス委員会

審議事項なし

<報告事項>

11 会長報告

報告事項なし

12 総務委員会報告

12.1 組織基盤支援事業申請内容報告

松丸会長より、資料「12.1 組織基盤支援事業申請内容報告」に基づいて報告があった。今回の申請は、元JOC事務局長の平氏、及びアシスタントの清水氏が作成した。今後も、これらの事業については、両名にしてみらうため人件費も申請した、との説明があった。

12.2 アジアエアガン知財資料の提供について

松丸会長より、資料「12.2_(追加)アジアエアガン知財資料の提供について」にもとづいて報告があった。

袴田専務より、協会へ銀座銃砲店からの問い合わせについて次の補足説明があった。

- ① 銀座銃砲店は、開催県から問い合わせを受けており、大変危機感をもっている。
- ② 仮設で対応したとしても、後でスケールダウンした形であっても残るような提案を含めて開催県へ返答をしたい。そういう事例を出すときにアジアエアガンの内容に使うてよろしいか。
- ③ 実際の情報はほとんど銀座銃砲店が持っているが、使って良いかという問い合わせを協会にしている。

松丸会長より、この内容については藤井彌事務局長と銀座銃砲店で申し合わせの内容を確認する予定となっている、との報告があった。

12.3 ホームページリニューアル予定時期

藤井彌事務局長より、口頭にて、ホームページリニューアルは国体後の10月を予定している、との報告があった。

13 推薦委員会報告

13.1 審査結果報告

大野委員長より、「13.1 審査結果報告」にもとづいて報告があり、加盟団体に以下の依頼があった。

- ① 推薦のためには段級、ライフル講習の履歴、競技会参加実績が必要であり、各加盟団体でなるべく早く申請できる体制を整えていただきたい。協会も申請を受け入れる体制を作っていく。
- ② 大口径の写真や14歳未満の年少者のYGテストは、ニチラネットになっても必要です。大口径の写真は、ニチラネットに添付すること。

13.2 競技会報告書及び段級申請の速やかな提供願

大野委員長より、速やかな推薦手続きを実現するため、競技会報告書及び段級申請を速やかに提供いただきたい、との依頼がなされた。

14 国体委員会報告

14.1 国民体育大会第4期実施競技選定結果について

平井委員長より、資料「14.1 国民体育大会第4期実施競技選定結果について」にもとづいて報告があった。

松丸会長より、評価が上がった理由を塚越職員がJSPO国体課に確認したところ、今までは何をやるかを評価していたのに対し、今回は何をやったかが評価される事になったため、当協会の評価が高くなった、との補足説明があった。

15 選手強化委員会報告

15.1 ワールドカップバクラー大会報告

佐橋委員長より、資料「15.1(差替)ワールドカップバクラー大会報告」にもとづいて報告があった。

15.2 15.2 ワールドカップチャンピオン大会派遣に関して

佐橋委員長より、資料「15.2 ワールドカップチャンピオン大会派遣に関して」にもとづいて報告があった。表示されている選手20名のうち、2名が諸事情により参加しておらず、実際の大会参加は選手18名である、との補足説明があった。

15.3 選手強化委員会委員

佐橋委員長より、資料「15.3 選手強化委員会委員」にもとづいて報告があった。育成部会に田中僚一郎理事、劉炫慈参事が加わった。

15.4 JOC 認定競技別強化センター設置射撃場の推薦に関して

佐橋委員長より、画面共有資料「JOC認定競技別強化センター設置射撃場の推薦に関して」にもとづいて報告があった。

16 競技運営委員会報告

16.1 競技会報告書、段級申請書のモダナイズ化について

三木委員長より、口頭にて、以下の報告があった。

- ① 段級の承認が推薦に追いついていないという指摘をうけている。
- ② 段級申請書や競技会報告書が古い書式のまま郵送されたり、ニチラネットにアップロードされたり、色々な方法で送られてきて遅延が続いている。
- ③ 仕組みを整えて加盟団体の事務局や競技会報告書をあげる方々に周知していくので、ご協力いただきたい。

松丸会長より、推薦業務が日ラネットによりスピードアップしている。得点や大会参加回数は成績入力時にデータ化しているが、段級取得のデータ入力が遅れているため、段級要件未達により日ラネットの自動判定で推薦が下りないことが多発しており、事務局への問い合わせも増えている。成績入力と同時に段級合否も入力できるように早急に検討をしてほしいとの要請があった。

16.2 新ルール運用について(ATL時間対応など)

三木委員長より、口頭にて、以下の報告があった。

- ① Athlete To the Line(ATL)から試合開始までの時間が新ルールで短くなったが、射撃場の構造上の制約などもあり、以前の時間に戻してほしいとの要望を受けている。ルールは新ルールのままとするが、射撃場と大会の運営の実態にあわせてTDと競技委員長が検討して、安全かつ公平な形でATL時間を変更する事は可とする。
- ② 5月理事会で協議したビームライフルとビームピストルについて、40発競技は30分から40分に変えたが、60発競技についてはそのままのルールで今年度は運営する。
- ③ 来年度以降のルールについては、佐橋選手強化委員長や藤井彌事務局長からワールドカップなどの現状を聞きながらルール変更の検討、対応していきたい。平井常務理事より、射座入り試合開始まで20分間あるが、15分間の試射と準備時間が必要なので、実質コーチが入る事が出来るのが5分だけであり、それが混雑の始まりだったのだと理解した、との意見があった。

16.3 2022年度審判名簿公表について

三木委員長より、口頭にて、今後整理次第公表いたします、との説明があった。

16.4 インクルーシブ種目について(高齢者、若年者、障害者が楽しめる種目の創出)
三木委員長より、口頭にて、会長の指示をうけて、同じ種目で皆が楽しめる種目
創出をエアライフル、スモールボアライフル、ビームライフル、ビームピストル
で来年度に向けて競技運営委員会で検討しており、事前アンケートをとる際には
ご協力いただきたい、との報告があった。

16.5 静岡県藤枝射場10m 電子標的再公認報告
尾崎認定部会長より、資料「16.5(追加) 静岡県藤枝射場10m電子標的再公
認報告」に基づいて報告があった。

17 普及・生涯スポーツ委員会

17.1 6月ビームライフル・ビームピストル射撃体験会

栗生部会長より、口頭にて、以下の報告があった。

- ① 当日は92名の参加があった。
- ② 東京都ライフル射撃協会、オリンピック、パラリンピアンとの協力もあった。
- ③ 当日の様子を写真によって紹介した。

18 マーケティング委員会

報告事項なし

19 コンプライアンス委員会

報告事項なし

20 会務報告

20.1 AP亡失事案について(安全管理徹底指示、現行法における保管義務)

袴田専務理事より、資料「20.1 AP亡失事案について(安全管理徹底指示、現
行法における保管義務)」に基づいて報告があった。

袴田専務理事よりブロック理事へ、このような事が起こらない様に、適宜注意喚起
をしていただきたい、との依頼があった。

20.2 規程改定プロセス及び管理に関する役割について

藤井彌事務局長より、資料「20.2(追加)規程改定プロセス及び管理に関する役
割について」に基づいて説明があった。

15時30分議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記
名押印する。

2022年7月9日

議事録署名人
公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事 松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事 田村恒彦

田村恒彦



代表理事 袴田登喜造

袴田登喜造



代表理事 横山幸子

横山幸子



監事 香西俊輔

香西俊輔



監事 岸高 清

岸高 清



以上

